



2022年国民平和行進ニュース

2022年
7月13日
No. 7

国民平和行進兵庫県実行委員会
神戸市中央区古湊通2-2-10
TEL:078-341-2818 FAX:371-2427

播磨町、高砂市が日本政府への意見書採択 雨あがりの播州路を行進すすむ

☆神戸市などで「大雨警報」が出る中、山電東二見駅前の出発集会は雨の中、菊本・加印原水協事務局長らの歌ごえでスタート。梶本・県実行委員会事務局長が「参院選の結果はどうあれ、核兵器廃絶の国民世論の強さに確信をもって沿道に元気よく訴えを」と激励。稲田哲也・加印原水協理事長のあいさつを受けて行進は出発。出発して間もなく雨もあがる。

☆播磨町は、6月19日に町長選挙があり、清水ひろ子町長が立候補せず佐伯謙作町長が当選、任期が明日13日からご挨拶いただけず。町議会議長、共産党町会議員団が歓迎。播磨町議会は、2018年9月21日、「日本政府は、核兵器保有国と共に核兵器禁止条約に署名・批准すること」を求める日本政府への意見書を採択。



加古川駅前でスタンディング



☆加古川市役所では、いつも出発集会を行う市民会館の入口は「ワクチン接種」の為、大ホールの提供を受け、岡田康裕市長のメッセージが紹介され、賛助金をいただきました。稲田理事長、県内通し行進者の挨拶を受けて、JR加古川駅まで行進。新婦人のカラフルな横断幕、手製のタペストリー、超大型のノボリなどがにぎやかに行進を飾りました。

☆37人がJR加古川駅前までの行進を終え、スタンディングで通行人に訴えました。菊本事務局長などが、岸田内閣の核兵器容認の政策をきびしく批判し、「日本政府に核兵器禁止条約に参加させよう」などと訴えました。



高砂市へ行進

☆行進団は、山電荒井駅前に移動し、高砂市中央公民館まで行進をつづけました。公民館では都倉達殊市長の激励メッセージをいただきました（写真左）。高砂市被爆者の会の千田征男会長（写真中）、大西ゆき共産党市議（写真右）らが激励のあいさつを行いました。



【本日13日(水)】高砂市中央公民館(9:00、9:30)－山電大塩駅前(11:00)－山電飾磨駅北(12:00)－姫路市役所(13:00)－大手前公園(14:30)

[今日通過の自治体の非核宣言]

[非核平和都市宣言／姫路市]

青い空、清らかな水、豊かな緑を保ち、明るく平和な生活を守ることは、平和を愛する姫路市民の願いである。しかるに、最近の世界情勢をみると、核軍備拡大競争が依然として続けられ、地球上の生命そのものが深刻な脅威にさらされていることは、世界の人々のひとしく憂えるところである。姫路市は、平和憲法の精神にのっとり、核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませずの「非核三原則」を将来とも遵守し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成を目指し、ここに「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和60年3月6日

姫路市

姫路市長 戸谷 松司

世界大会への期待を 代表派遣に

日本原水協常任理事会で追い上げ確認

日本原水協常任理事会（オンライン）が12日行われ、原水爆禁止世界大会成功への意思統一を行いました。**【今年の世界大会の意義】**①国際紛争での武力行使と威嚇、とりわけ核兵器の使用と威嚇を絶対に許してはならないという明確なメッセージを、被爆地広島、長崎で開かれる大会として世界に発信する。②8月1日からニューヨークで開かれる第10回NPT再検討会議の最中に開かれる大会である。今回のNPT再検討会議は、コロナで数回にわたって延期されたが、核兵器の廃絶を求める圧倒的多数の国々の声で開催に至った。これまで日本原水協は、2005年、10年、15年と国民的規模の署名と代表派遣をおこなってきた。今回はコロナの関係でニューヨーク結集はできないが、重要度は変わらず、それにふさわしい広島、長崎の現地結集を成功させる。③核兵器禁

止条約が発効し、NPTが核保有国の特権的な条約から「核兵器のない世界」を求める世界的結集の場に代わろうとしているいま、世界大会は、被爆者とともに被爆地でひらかれる大会として、核兵器の受け入れがたい残虐性、非人道性を告発し、世界の国々と諸国民に発信する大会となる。④ウクライナの危機に便乗した、「核の傘」依存の強化、核共有論、軍事費倍増、改憲など、危険な動きとのたたかいは、世界平和への大きな貢献であり、そのとりくみの成果を世界に発信する大会となる。全国からこの間の成果を持ち寄ろう。**【世界大会の魅力】**国連・政府代表として、核兵器禁止条約締約国会議、NPT再検討会議でそれぞれ重要な役割を果たしている代表がこぞって登場する。国連は中満泉上級代表を招請。そして第1回締約国会議議長のクメント大使の4日の開会総会への参加が決定。6日には、NPTの核兵器廃絶（第1委員会）で議長を務めるマレーシアのサイド国連大使、さらに長崎では、第2回締約国会議で議長を務めるメキシコの大使の出席を予定。世界大会でもなければあり得ない重要な機会となる。**【平和運動代表】**初日（4日）には、真っ先にウクライナやロシアの代表が発言。ウクライナからは、ロシアの武力侵略に反対し祖国でたたかいながらも、ウクライナの軍事ブロック参加にも反対し、平和的解決を主張している人たち。そしてNATOであり、「核共有」国でありながら政府を禁止条約締約国会議にオブザーバー参加させたベルギーの代表など、反核平和の活動家であれば、絶対に聞き逃さないようなプログラムです。

明日14日（木）のコース＝JR網干駅（9時半）－太子町役場（10時半）－鷗町内（旧道北上）－龍野・福田－広島阿宗神社前－龍野橋東詰（左折）－たつの市役所（12時15分）